

## 学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい  
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる  
1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ
<p><b>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導方法に工夫を加えた教員の割合が93%に上っていることで、学力向上に対する学校の努力が見られるが、学力調査や生活実態調査等の結果を十分に活かしてほしい。</li> <li>・相変わらず家庭学習の時間が取れていないようなので、家庭との連携も含めて取組むべき課題だと思う。</li> <li>・一般教育学習については十分な対応が取られているが、個々の特異性を見て本人の得意分野を伸ばしてほしいと思う。</li> <li>・授業改善や効果的な少人数指導、放課後学習を充実し、さらなる学力向上を目指してほしい。</li> </ul>	<b>4</b>
<p><b>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の教育＝人を大切にできる教育だと思う。他者から認められることで自尊感情が高まり、自分を大切に思う心が育ち、他者も大切に思う心が育つのだと思う。生徒の頑張りを認めてくれる先生、困っている時に十分対応してくれる先生、そういった評価がさらに高まることを期待する。また、学校行事や部活動で得る達成感や仲間との連帯感も重要であり、この点では1年生が学校行事を余り楽しみにしていないようなので取り組みを振り返ってほしい。</li> <li>・日々の挨拶から始まる基本的な生活習慣の確立の促進、思いやりに満ちた人間関係や社会との関わり作りなどを行い、心身共に健全な育成が図られている。</li> </ul>	<b>3</b>
<p><b>3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりを通じての情報公開、学校評価アンケートの実施、オープンスクールや体育大会の土曜開催等、地域や保護者に「開かれた」学校づくりを通じて連携を深める取り組みは評価できる。一方で、学校が地域行事にできるだけ協力して参加することも大切だと思う。</li> <li>・生徒の学力向上、地域でのマナー向上が学校に対する地域の信頼につながるので、より一層の取り組みを期待する。</li> <li>・意識して実施はされているが、教育活動の情報公開、オープンスクールなどを保護者にもっとアピールした方がよい。PTAとの連携は十分行われている。</li> <li>・トライやるウイークや地域の清掃活動など連携が図られており、社会性の教育にも通じている。</li> </ul>	<b>3</b>
<p><b>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今、求められている安全教育は自然災害や交通災害等から命を守るための知識や実践力とSNSを通じて自ら情報発信者になり得る危うさを学ばせることだと思う。今までのような登下校の安全指導や見守り、不審者対策、防災避難訓練等に加え、悪意ある情報からの退避や悪意ある情報の発信者とならない教育が必要だと思う。また、スマホ教室など教員や保護者向けに研修会も実施した方がよいと思う。</li> <li>・全職員による日々の登下校指導の効果がよく出ている。今後も安全な学習・生活環境を最優先に取り組んでほしい。</li> <li>・学校の見える化が進み、外部から見てもよい環境だと思う。</li> </ul>	<b>3</b>
<p><b>■教育目標</b> 1 自他共尊重する心の育成 2 自立心、克己心の育成 3 個性の伸長、豊かな創造性の育成 4 豊かな人間関係力、誠実な心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションスキルの育成という方向性を生徒の実態や保護者の要求などから導き出し、試行錯誤しながらも取り組んでいることを高く評価する。今の子どもたちが抱える大きな課題のひとつだと思うからだ。また、その過程で教師集団の強みや弱みを分析し、個々のスキルアップを図る取組みも適切だと思う。教育目標の4つ全てが具現化されていると思う。</li> <li>・個々の特異性を見ながら、好きなことや得意なこと伸ばしてあげることが成長の一番の手段だと思う。</li> <li>・教員の自己研修や読書や研修会への参加、教科間の連携を深め、バランスの取れた成長を実現するため、重点目標を設定して取り組んでほしい。</li> </ul>	<b>3.5</b>
<p><b>■研究テーマ・授業改善による学力向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上を図る上で、教員の授業力を高めることは必須。学習規律が確立されている今、特に若手教員を中心に自主授業研究や教材交換等がなされていることに期待が持てる。また、レベルの高い授業にふれることができる研究会等に、積極的に参加する機会を設けたいとする方針も評価できる。</li> <li>・評価アンケートで、少数ではあるが授業改善に取り組めていない教員がいるようなので、さらなる取組みを期待したい。</li> <li>・身近なところに、いろいろなことに精通した人がいるので、地域人材の活用について検討してほしい。</li> </ul>	<b>3</b>
<p><b>■その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人に寄り添いながら、生徒のよいところ、好きなことを伸ばしてあげてほしい。</li> <li>・校長を始め、教職員の方々がよく頑張っていると思う。</li> </ul>	
<p>評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)</p>	<p>評価Ⅳ</p>
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	A
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B